

令和2年第6回加西市教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--------------|---------|
| 1 | 開会日時 | 令和2年6月24日(水) | 14時00分 |
| 2 | 閉会日時 | 同日 | 15時16分 |
| 3 | 開催場所 | 加西市役所 5F 会議室 | |
| 4 | 出席者 | 教 育 長 | 兼 松 儀 郎 |
| | | 委 員 | 沼 澤 郁 美 |
| | | 委 員 | 楠 田 初 美 |
| | | 委 員 | 中 川 和 之 |
| | | 委 員 | 深 田 英 世 |

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
次長兼教育総務課長	今 西 利 夫
教育委員会次長(文化財担当)	森 幸 三
教育委員会課長	井 上 英 文
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	松 本 富 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
図書館長	藤 川 貴 博
学校教育課主幹	北 島 悦 乃
こども未来課主幹	周 夕 美
総合教育センター副所長	三 村 尚 彦
図書館主幹	伊 藤 陽 子
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

6 付議事項

- | | |
|--------|-----------------------|
| 議案第32号 | 令和元年度加西市教育委員会点検評価について |
| 議案第33号 | 加西市青少年補導委員の委嘱について |

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第 32 号 令和元年度加西市教育委員会点検評価について

次長兼教育総務課長より、令和元年度加西市教育委員会点検評価について説明する。教育委員には忙しい中、令和元年度点検評価諮問精査いただいたことにお礼申し上げます。ご指摘いただいた字句の訂正、内容における表現方法、もう少し詳しい記述にといった意見等について、各担当において再点検と修正をし、最終案として本日お手元に配付している。

具体的な修正箇所について、説明を行った。

- ・全体を通して、例えば年度表示が「R 1」と「R 元」と統一されていなかった部分など文言の細かな修正を全体的に行った。

- ・P 3 について取組状況・成果欄の 2 つ目の項目として、「元年度はこども園の保健担当者会を実施した。講師を積極的に迎えた研修（園内研修 2 回・実技研修 1 回・特別支援担当者会 2 回）を行い、各部会の自発的な研修が行われた結果として、部会回数・参加者増につながった。」という文章を追加した。

- ・P 5 について取組状況・成果欄の 1 つ目の文章で、この最後に「園庭開放には、運動会、音楽会等への招待、呼びかけも含んでいる。しかし、低年齢からの就園の増加もあり、参加人数は減少してきている。」という文章を追加した。

- ・P 6 について取組状況・成果欄の「児童生徒理解に係る連絡会等一覧」という表の下 1 行目に、「SSW と学校や関係機関との連携がスムーズになり、細やかな支援ができるようになってきた。」という文章を追加した。

- ・P 11 について取組状況・成果欄の最後の文に、『「毎日朝食を食べる」と回答した児童生徒は、小・中学校ともに 85% 以上であり、全国平均よりも家庭における食に対する意識は高いが、約 15% の児童生徒への食習慣の向上について改善を図る必要がある。』と書き加えた。

- ・P 14 について取組状況・成果欄の「総合教育センター教職員研修講座」の表に、年度表示の後に教職員の対象者数を明記した。そして、同欄の最後の文に、「講座受講者延べ人数の減少は、講座数を減らしたことと、夏季休業中の講座と近畿総体と日程が重なったことが原因である。」というように原因分析を追加した。

- ・P 15 について今後の取組・課題の欄で、「学校でも事業を行った。」という記述をより具体的に、「西在田小学校の 3、4 年生を対象にトランポリンを使った事業を行

った。」というふうに学校名、内容を加筆した。

・ P 16 について取組状況・成果欄の「学童保育園や介護施設、また」という文章の後、「各町の小規模なサロンから、加西市老人クラブ連合会のふるさと芸能大会やサイサイまつりなどの大規模なイベントまで、幅広い団体から依頼を受け、87 回（昨年度 52 回）の出前講座を行った。公民館の出前講座が徐々に周知されたため要望や依頼が増え、主体的に活動する場が増えている。」と詳細な記述に変更している。

教育長からは、教育委員には、事前にお配りしたシートを非常に細かく丁寧に見ていろいろなコメントをいただき、感謝している旨の発言があった。

教育委員からの質問および各課からの回答

・ 今まで評価が抽象的で具体性が少ないものが多かったが、特に P 4 でかなり詳しく具体的に書かれており、今回の評価はすごく細やかにわかりやすくなっていると感心した。

それと、P 2 施策評価の分布の全体的な評価を見ると、前年度より難易度の高い施策数が下がったので、今年度の達成度の高い施策数が上がったのか。つまり前年度は難易度 A の施策が 24% だったのが、今回は 19% になっていて、難易度 B の施策は前回 76% だったのが、今回 81% になっている。それで、全体的に難易度が下がっているので、達成度が以前より増えていると解してよろしいのか。

（次長兼教育総務課長の回答）委員ご指摘のとおり、施策はそう大きく変更を行っていないが、何年も続けてきているものは、年々いろんな経験をもとに考えると難易度は下がっていく傾向が出る。それにあわせて当然、達成度の数字は上がってくる関係にあると考えていただくと一番わかりやすいと思う。

・ P 16 の評価について、実際の受講者人数がかなり増えていて、達成の評価が以前の B-3 から今回 B-4 へ上げている。ここは偶然的に人数が増えたということではなく、やはり努力によるものとして評価を 4 に変えたと理解してよいか。

（生涯学習課長の回答）人数が増えたという一番大きな具体的な要因は、先ほどもあったが大規模な敬老の集いや、サイサイまつりに出たことだが、去年に参加したから、今年も呼ばれて増えているものもあるので、その点を考えて評価を上げた。また、教育委員から評価をもとの 3 から 4 に上げていいのではとの意見をいただいた。

・ 細かい修正だが、P 16 だけ「R01」の記載が残っている。

P 21 の評価が B-2 で、どうしても目がいってしまう。文章を読むと未就園の子

供の人口が減ってひろばの利用者が減ってきていると、原因がはっきりわかる中で、ここだけ評価を2にする必要があるのか。逆に2という基準にされたのはどういうところか。

(こども未来課長の回答) 全体を見ると達成度2は、今回はこの1つなので、ここだけに目がいってしまうところであるが、評価するにあたって、指標に基づき評価するというのが基本にあるものと思う。そこで、目標数値の設定に対しても、いろんな理由はあるが実績数値が下がっていることに、やはり現状に対して何らかの取組が求められている、やらなければならない課題があると認識しており、このあたりはあえて評価3ではなく2にして、今年度以降に改善、改革を進めていきたいという思いを込めた。その目標数値に対しての現状の位置、状況を鑑みて、2という評価にした。これが来年は評価3になるように頑張っていきたい。

教育委員からは、未就園の子供の数が減っているにもかかわらず、子育てひろばの利用者数は逆に30年度よりも令和元年で伸びているところから、去年よりは向上していると解釈したが、あえて評価2にして、もっと上を目指していくと言うのなら、それでいいかなと思う。よろしくお願ひしたいとの意見があった。

・P17の「ふるさとの豊かな歴史、文化遺産を活かしたまちづくり」の取組状況・成果欄で、「古坂地区の夏休みのラジオ体操に公園を開放した。」という記述があるが、ここに少し違和感がある。あえてこれを書く必要があるのか。逆に、もっともっと公園を地域の方が活用されている例を入れてもいいのかなと思うが。

(教育委員会次長(文化財担当)の回答) この部分については、笹塚公園は供用開始になったが、基本、オープンな施設で、入園者をカウントすることもない中で、特に地元からラジオ体操の場としても使いたいとの特別の依頼を受けた経緯があり、ピックアップして記述した。玉丘史跡公園は管理人が常駐し、来園者数をカウントしている一方、笹塚公園はオープンなので人数を提示して評価ができないため、今回はこういう形でトピックス的なものだけ記述した。

教育委員からは、修正案でも書かせていただいた点だが、P7、放課後の補充学習の取組状況・成果で、全中学校及び小学校のがんばりタイム等の補習授業の時間数が今回半分近くに下がっている。それに対して、今後の取組・課題欄の midpoint 2番目で、『かさいがんばりタイム』や『かさい未来塾』等、放課後や長期休業日を利用した補充学習については、児童生徒や保護者のニーズは増えてきているが、支援員の確保が難しいということで下がっている。生徒や保護者のニーズの増加はあり、どうしてもこういう意味で下がっている現状は仕方ないが、今後に向けて時間的なニーズに合わせた運用ができるよう検討してほしいとの要望があった。

点検評価に関する教育長からの感想

全体的な達成度の評価は、昨年度と比べると数値が上がってきた傾向がうかがえる。

中には幼児教育の最初の部分で、どういう観点から評価するかということで、実践目標 1-1 の取組 1、2 番で、大きく評価内容を変える工夫が見られた。そこでも、遊びの中の遊びをどう評価するか、非常に難しいのではないかとすることも記述されていた。内容を変えた取組 2 の幼小接続に関しては、交流回数が指標となっている。これでもいいが、幼小接続についても質的な面での取組の評価もあると思う。数値で表せる部分と表せない部分があり、なかなか質的に評価するのは難しい面があるが、今後は、評価に関してそういうことにも留意、検討いただけたらと思う。

1-2 の取組 1 番、幼小中の連携教育について、不登校とか S S W、場合によってはスクールカウンセラーが評価のもとになる実際の数値として出ると思う。連携教育や接続の問題になると、小 1 プロブレム、中 1 ギャップの解消ということもあるので、そういったことを含めると、評価の指標として不登校や S S W だけでなく、ほかの面も出てくるのではないかと印象を持った。

これは要望だが、1 点目に、到達したものと達成したものとともに、これからの課題やこれからなすべきことが明らかになるような評価も必要だと思った。もう 1 点は、振興計画も今年が改訂の年となっているが、コロナ対策もあり、学びの保障ということが言われている中で、I C T の活用など、時代の変化や社会の状況を反映した評価項目も必要になってくると思う。

議案第 33 号 加西市青少年補導委員の委嘱について

総合教育センター所長より説明する。加西市立総合教育センター条例施行規則第 4 条の規定により、次の者を加西市青少年補導委員に委嘱したいので、委員会の議決を求めます。委嘱期間は令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで。

なお、補導委員の任期は 2 年だが、町により 1 年ごとの交代が慣例になっているところもあり、昨年度末の各区長へ補導員交代等について調査をした際に漏れていて、6 月に補導活動が再開された機会に、補導員がかわっていたと判明したので、今回区長の推薦により再度、委嘱の議案を上げることとなった。

9 議決事項

議案第 32 号 令和元年度加西市教育委員会点検評価について

原案通り可決

議案第 33 号 加西市青少年補導委員の委嘱について

原案通り可決

10 報告事項

教育長

通例の報告に先立ち、教育長の職務代理者について報告をする。

現在、沼澤教育委員には教育委員を第 1 期に引き続き、6 月 27 日から第 2 期目を務めていただく予定。この任命については 5 月 29 日の第 283 回加西市議会定例会において議会の同意をいただいた。今後、市長が任命する予定である。沼澤教育委員には令和元年 6 月 27 日から教育長職務代理者に指名しているが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により、沼澤委員を職務代理者として引き続き指名させていただきたい。よろしくお願ひしたい。

教育長の辞職について報告する。

6 月 12 日に第 2 回加西市臨時教育委員会を開催し、教育長の辞職の同意について審議いただいた。この臨時教育委員会において、教育委員会の同意をいただいたことを報告する。6 月 30 日付で退任予定。これに関連し、6 月 22 日市議会定例会本会議最終日に、新教育長の任命について議会の同意を求めることについて審議され、民輪恵氏が次の教育長になるということで議会の同意を得ている。

その他の主な事項について報告する。

- 5 月 26 日 (火) 令和 2 年度第 1 回北播磨地区採択協議会 (善防公民館)
今回は、中学校教科用図書の採択についての協議を行った。
事務局は加西市教育委員会が務める。
- 5 月 29 日 (金) 市議会本会議 (第 1 日)
- 6 月 5 日 (金) 加西市立認定こども園移管先事業者選考委員会
- 6 月 10 日 (水) 市議会本会議 (第 2 日)
- 6 月 11 日 (木) 市議会本会議 (第 3 日)
- 6 月 15 日 (月) 総務常任委員会
- 6 月 15 日 (月) 予算決算常任委員会 総務分科会
- 6 月 22 日 (月) 市議会本会議 (最終日)

学校教育課長

令和元年度加西っ子の体力・運動能力、運動習慣等調査の報告について報告する。

お手元に配付の2020年4月発行リーフレット「かさい教育ねっと特集号」は、令和元年4～7月までに小学校5年生と中学校2年生を対象に実施した体力テスト及び運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査による加西っ子の体力・運動能力、運動習慣などの調査結果の報告である。

本調査は子どもたちの体力低下が問題視される中で、体力や運動習慣等の状況を分析・考察し、体力の向上を図るための方策を検討することをねらいとしている。

具体的な加西市の児童生徒の状況は、リーフレットP1、中ほどのグラフ及び下に掲載の表をご参照願いたい。

まず、小学校5年生男子は8種目中1種目が全国平均以上の結果となった。小学校5年生女子は8種目中5種目、中学校2年生男子は9種目中5種目、中学校女子は9種目中7種目が全国平均以上の結果であった。この結果は、昨年と同様、小学校5年生男子が8種目中1種目のみ全国平均を上回る状況はあるものの、中学生が男女合わせて18種目中12種目を全国平均以上ということを見比べると、昨年度よりも好結果であったと言える。

種目ごとの結果では、フローチャート型グラフにあるように、加西市の児童生徒は20mシャトルランや持久走など持久力が得意であり、平成30年度と同様の傾向である。

一方、苦手としているのは、依然として上体起こしと長座体前屈。数値の改善は図られてきたが、昨年度の定例教育委員会で紹介した平成30年度小学校体育担当者会で作成した「かさいっ子柔軟性チェックシート」を体育や家庭で活用しており、当紙面にも掲載した。これを本年度再度、学校や家庭での取組につなげようと考えている。

また、体力・運動能力の向上については、体育の授業の充実が欠かせない。昨年度の教育委員会でも、「楽しい授業」についてご指摘いただき改善充実を図ってきた。

裏面には授業についての中学生の調査結果も掲載した。加西市中学校の体育授業では授業初めに「めあて」をきちんと提示し、授業終わりにその「めあて」の達成度を確認している。また、友達と助け合ったり話し合ったりする活動をしている。デジタル機器を活用し、自分や友達の動きを撮影して活用する学習を行っている。それから、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動している等、授業が単に楽しいだけでなく、目標設定し課題を克服しようとする中学生にとっても大事な授業のスタンスを維持することで、全国平均より高い数値を示していると考えられる。授業の充実ぶりが子供たちの運動やスポーツは楽しいという実感となり、体力の向上につながっていると分析している。

もちろん、体力、運動能力は決して学校の授業中だけで向上するものではない。このコロナ禍において子どもたちの体力の保持増進に注目が集まっている。体育の授業は徐々にスタートさせているので、なかなか通常通りにはいかず、ウォーミングアップのような状況である。また、中学校でも部活動がようやく再開し、最初の導入段階の運動として、過度な負担を一気につけない工夫をしている。柔軟性や体育の授業改

善を学校でもやりながら、あわせて本リーフレットを使用し家庭や地域と連携しながら、子供たちの体力の向上、健やかな体づくりに今後も務めて参りたい。

教育委員からの質問および学校教育課長の回答

・裏面3番「体育の授業は変わってきています！」の表の最後、自分に合った練習についての質問で、肯定の回答は男子も女子も全国平均より上回っているが、加西平均は男子が34.8%で女子が70%近くとなっている。なぜこれほどの差が出るのか。なぜ女子がこれだけアップしたのか理由を教えてください。

(回答) 令和2年3月4日、当リーフレット作成のため兵庫教育大学の先生と市内小中学校体育担当の代表者とで分析した際、委員ご指摘の女子の数値の高さが、よいことであるが、注目もされた。ほかの項目でも、小学校5年生の男子が女子より低いというのも同様の傾向がある、女子は体育に限らず自分で目標設定をして、めあてを持った授業の臨み方をするということが、いろいろなアンケート結果や調査結果に出てきている。そういったことから、数値を見ると男子が悪いように見えるが、男子が決して悪いわけではなく、女子の意識の高さがあり、それが今後伸ばしていくための1つの目安になると分析している。

・4番の「かさいっ子柔軟性チェックシート」は休校中に息子と見たが、授業でこういうふうにするという指導はしているのか。息子はこれに興味を持たない。興味を持たせるような指導があれば、柔軟性の項目はアップするかと思う。せっかくこれだけわかりやすいモチベーションを上げるような絵なので活用した指導をお願いしたい。

(回答) 取り組み始めて3年目を迎える。今年はリーフレットを作ってからコロナ禍で、周知ができていないところがあるが、ご指摘のとおり、体育の授業でこれを十分に使っている学校やクラスもあるので、そのあたり周知を図っていきたい。実はこれは市内中学校の美術教員が、子供たちが取り組みやすいよう工夫して独自にイラストを描いたものなので、そのあたりをPRしながら家庭にもつないでいきたい。

・前述の「かさいっ子柔軟性チェックシート」についてだが、子供はただ単にしなさいと言うだけではしないので、楽しんでやる方法を考えたほうがいい。私の会社では、仕事ばかりしていると肩も凝るし、眠くなるので、午前と午後にラジオ体操をしている。子供たちも決まった時間に音楽を流すなどして、楽しんでできるような指導できないものか。

(回答) 確かに、準備運動を音楽をかけながら、独自の体操をする学校もあるので、

そういったところも認め、進めていきたい。委員ご指摘のとおり、柔軟性の課題は、やりなさいでは、なかなか取り組まないの、多くの学校では身体測定のときに柔軟性もはかり、1年間で伸びを何度かはかる取組もし、達成度を見ている。そのあたりもあわせてご助言は学校に伝えたい。

こども未来課長

北条東こども園の民営化に係る移管先事業者の公募状況について説明する。

昨年、総合教育会議の中で加西市公立こども園の民営化の基本的な考え方や方針を示した。それ以後、民営化する1番目の園として、北条東こども園の民営化の作業を現在進めている。

3月に第1回選考委員会を開催し、委員会へ諮問した。第2回の会議は先日終わり、募集要項や事業者の選考基準、点数のつけ方を今まとめている。7月に募集要項を公表し、8～9月には第3回選考委員会を開き、手を上げた事業者を選考できるよう作業を進めている。

3月の第1回選考委員会を行ったときに、保護者説明会を開催する予定であった。あいにくコロナウイルス関連の対策で一同に保護者を集める説明会ができず、4月に1カ月延期したものの、4月も同様の状況であったため、東こども園民営化についての保護者アンケートを配り、回答をいただいた。それに対しての回答を配付資料のP4～6につけ、保護者にも見ていただいた。意見は余り多くはなかったが、それぞれの方から様々な質問をいただき、回答している。

6月19日には保護者に集まっていただき、アンケート結果あるいは総合教育会議で示した民営化に対する考え方の資料を用いて、東こども園の民営化についての意見交換と現状説明を行った。主な意見としては、資料P4～6と同じで一番不安に感じ心配されているのは、北条東こども園がどう変わるのか、民営化して全く違う園になるのではないか、といったところを詳しく教えてほしいという意見であった。

民営化となっても北条東こども園の土台の部分は変わらないこと、民間事業者が手を挙げるとなっても、市からこういう形でしっかりやってくださいということで、東こども園の基本の部分はそのまま継承し、そこにプラスアルファしていただくようになる。民間事業者がもとの園の形のまま、こちらへ持ってこられるようなことは一切なく、むしろ今のこども園のいい部分を残しながら、新たに特色を加えていただくように、両方のいいところを加えていく形で保護者にも説明をさせていただいた。

保護者からは、そういう形になるよう市がしっかりと指導して、しっかりとした事業者を選んでいただきたいとの意見をいただいている。

教育委員からの質問およびこども未来課長の回答

・ 4月 21 日にアンケートを配布し、6月 1 日に回答したということだが、意見者は 3 人になっている。その後、コロナの関係で説明会が遅れたが、6月 19 日には保護者会が行われたのか。そのときに恐らくいろいろな意見が出てきたと思うが、それはアンケートの意見とほとんど一緒だったのか。何か別の意見もあり、それも記載されているのか。

(回答) 説明会では、概ねアンケートで書かれたことを重ねて尋ねる、さらに詳しく聞くという内容だった。恐らくアンケートを書かれた方が説明会の場でも再度質問されていたので、結果としてはそうなった。このアンケート以外の部分であった意見としては、前述のように、東こども園が全く違う園になりはしないかということに関して保護者の心配があったので、そこは全く変わるものではないとしっかり説明し、理解をいただけたと考えている。

・ 6月 1 日にアンケートへの回答が配布され、6月 19 日に説明会だったわけだが、そこでさらに進んだ説明があったものに対して、説明会での回答で終了なのか。それとも、何かこういう意見であったと発信されるのか。

(回答) 19 日の説明会の内容についても、全員が出席したわけではないので、保護者からの意見やそれに対する市の回答については文面でお伝えするつもりである。

・ 6月 1 日配付のアンケートで保護者の回答は 3 つしか返ってこなかったのか。

(回答) 自由記述で意見を求めたので、結果として意見を書いたのは 3 名だった。

・ 記入が難しかったのか。マル・バツ式ではなく、どのようにお考えですかといった質問形式だったのか。

(回答) 民営化について保護者の方が率直に感じたことを自由に書いていただくような思いで、自由記述の形がよいと考えたが、必ずしも全ての方から意見をいただくような形にはならなかった。

・ 保護者は、いろいろと考えもあり、複雑な思いでまとまらなかったのだろうか。

(回答) 説明会を開いて理解したが、やはり文章ではなかなかというところもあるので、対面で説明できる機会を今後も設けていきたい。

・ 第 2 回選考委員会では、募集要項等までで、どの事業者をとというのは出ていないのか。民営化の応募は 8 月からなのか。

(回答) 7 月に募集行方時期を通知し、8 月の応募期間内で申し込んでいただく予定である。こういうことができるのか、こういうことについてどう考えているかといった市からの質問に答えたものを事業者に提出していただくことになっている。

それを見ながら、事業者を選考委員の前で説明してもらおう機会を持って、実際に審査を行う。

・保護者が内々のいろいろな質問や説明を聞ける電話とか何かあるのか。

(回答) 今、個々に話をするのは難しい。まだ、どのタイミングかは言えないが、スケジュールに沿ってどこかの時点で質問期間を設けたり、この期間にこちらからの質問に対する回答をしてくださいという流れを示して、その中で選考委員会に決めてもらうよう進めたい。

・市のほうで、この事業者で受けてほしいとか、何かプッシュはないのか。

(回答) 市外の方だと顔が見えないことから、少しでも安心していただけるよう市内の事業者さんに限定している。その中でどなたが手を上げていただけるかは、やはり事業者それぞれの判断になると思う。

・もう考えられているとは思いますが、10月以降、事業者が決まって、その事業者から保護者への説明や要望を聞く機会は設けることは予定されているのか。

(回答) そこは本当に大事になってくると思うので、ぜひ市と事業者と保護者との3者でしっかり話し合って進めていかなければならないと考えている。

教育委員からは以下の要望があった。課長の説明から、保護者の不安というか、逆に言えば、今の園がいい運営で保護者が園を信頼されていることへの裏返しだと思いき聞かせてもらった。その中で公から民になったとき園が変わってしまうのではないかという不安が非常に大きいので、そこは課長、教育委員会の方、業者を選ぶ選考委員会の方がそうではないことを改めてきちんと説明されたこと、また、市のほうで民営化しても指導をするということで保護者の理解が得られたのかと思う。改めて保護者の不安がない状態で、新しい園ができるように今後も努力とご指導をお願いしたい。

また、別の教育委員からは、大事な子どもさんのことなので、これからも保護者が納得いくまで何度でも説明をしていただきたいとの要望もあった。

総合教育センター所長

教職員の資質向上のための研修講座について説明する。

研修講座はセンターの大きな事業の柱である。このたび、コロナの影響で夏季休業日が短縮されたことや教職員の働き方改革を考えながら組まなければならないこととなった。あるいは修学旅行を含めこの先の学校行事の実施が未定の部分があるので、日程調整と講師の調整が非常に進みにくい状況である。令和2年度研修講座については、現在のところ、抱き合わせて講座を行うなり、精選した形で計画をしている。

なお、目玉にしていた佛教大学副学長の原先生の教育講演会は中止にし、また機会があったらとしている。

小学校の英語研修講座については、2年間の悉皆研修で昨年度提案をしており、昨年80名ほど小学校の先生の出席があった。今年度については授業のやりくりの中で、それだけたくさんの小学校の先生が集まる機会がどうも日程的にとりにくいのと、悉皆研修と銘を打っていたこともあり、令和3年度に延期の計画をしている。

なお、オンライン研修については、6月に暑さに慣れない子どもたちが学校に来て熱中症にならないように、子どもたちが休校中に熱中症対策のための研修講座を持った。140名の先生方が自主的に受けられた。アドバイザーの資格が取れ、環境省が後援で修了書が各先生方へ届く形で進んでいる。

あと、小学校とコラボの研修では、本年度道徳の研究発表等を計画されていた北条小学校だが、集まった研修に大学の先生も参加できない状況があり、授業づくりについてのオンライン研修を計画している。

教育委員からの質問および総合教育センター所長の回答

・研修の日程がほとんど入っていないが、いつごろ決まるのか。

(回答) 現在、小・中・特別支援学校の行事予定を決めており、それがある程度出た段階で決めたい。中学の修学旅行やトライやるがいつかわからない状況が出てくるかもしれないが、それは考慮できない部分でもあるので、7月中旬ぐらいには日程を出すよう考えている。これには講師の先生の都合もあり、非常に苦しい状況である。

・1番や9番は日程が決まっているが、私たちも聴きに行ってもよいか。

(回答) 前もって教えていただければ。1番は8月4日実施と昨年に決まって、PRしていたが中止になった。その日が夏休みから授業日に変わったからだ。9番は加西市特別支援教育で非常にお世話になっている先生で、教育講演会の絡みで日程は前後して一応お願いしているが、この日程も変更になるかもしれない。

・先日の勉強会でICTの研修があり、1台のパソコンでこういうことをオンラインでやっていくというのを実際に見た。そういう研修は必要になってきたら、プラサルファで入って来るのか。

(回答) 先日の勉強会のときに、こういう使い方できると分かったし、実際に先生方はそれでひらめく方もいると思う。例えば算数のこの授業でこういう形でクロームブックを使ってやったという実際発表的なもの、授業の研究発表を見てこういう授業展開をするのだとわかるもの、クロームブックの中で展開し実践されている先

生がオンライン学習で何かできないかと考えている。今、ここに載せていないが実際の授業の実践例という形で研修講座が持てるよう探している。

教育委員からは、ICTの研修をぜひお願いしたい。特にしゃべった音声は瞬時に文字化される機能には感動した。多分子供たちもすごい興味を持って取り組むと思うので、よろしくお願ひしたいとの要望があった。

また、別の教育委員からは、行事の予定が決まっていなかったことや夏休みが短縮されたこと、講師の予約は本来半年以上前にしないと、なかなか押えられないといった状態で、日程づくりに本当にご苦慮されていると思う。加えて、先生方の働き方改革もあるので、いろんな日程調整に本当に努力されていることに感心している。そういう事情にあるので、どうしても絶対しなければいけないものとそうではないものを選別して、臨機応変にある程度の研修をするというのも1つの案だと思うという意見もあった。

1.1 協議事項

なし

1.2 教育委員の提案

なし

1.3 今後の予定について

- ・第7回定例教育委員会 7月16日(木) 14:00～4F入札室
- ・第8回定例教育委員会 8月24日(月) 14:00～1F多目的ホール

- ・令和2年度加西市教育委員会点検評価委員会

7月9日(木) 18:30～ 健康福祉会館ラヴィかさい 2F 研修室

1.4 その他

教育委員からの質問および回答

・学校施設の消毒について質問したい。小学校の施設全般において、教職員が1日1回程度消毒されている。学校は広いし、子供は元気いっぱいいろんなところを動き回るので、その状態でドアノブから学校内のいろいろな箇所を先生方が消毒して回る現状はどのような状況なのか。負担にはならないのか。

(回答) ここ数日学校に状況を聞いていた。消毒に関しては教育総務課が次亜塩素酸水、次亜塩素ナトリウムでの消毒の仕方を周知した。学校の規模により違うが、

子どもたちが帰った後 15～30 分ほど、担任教員が中心となり自分の担任の教室の机、ドアノブといったところ、それから、養護教諭と専科の先生方でトイレの手すりやプッシュのところなどを拭く作業をずっとしていただいている。

中学校に関しては教員が中心になりながらも、放課後の帰る前に自分たちの学習活動の場として掃除をし、子どもたちに害がないようにしつつ生徒たちも一緒に行っている。

確かに負担かと言えば、今までになかったことをしているので、負担がゼロではないが、随分とルーティーン化されてきている。ただ、どこまで続くかが見えてこない中で、こちらとしても何か支援できないかを考えている。

・働き方改革やいろんな負担が少しでも軽減化されるようにという中で、消毒作業も行わなければならない。ひょっとしたら労働時間的に負担であると何か聞いているかをお尋ねした。現状はそうでもないということか。

(回答) 負担はゼロではないが、前述のように学校の規模によりばらばらで、例えば1番小さな学校では10～15分で終わる。1学年に複数の学級がある小学校や中学校では、中学校は子どもたちも中心になってしているのだが、北条小、北条東小、九会小などは少し時間がかかるが、30分以内にはできているとのこと。その辺は随分と手際よくでき始めたと聞いている。それでも、30分はかかる。

・消毒に新たな人材を確保しなければいけない状況ではないのか。

(回答) それも視野に入れないといけない状況が今後あるかもしれない。それも検討したい。

・最近、新聞とかメディアの中で、休校明け後の子どもたちの体調不調が出ていると書いていたが、加西の子どもたちはどうなのか。

(回答) 体調面では、暑くはなってきたが、救急搬送された子どもがいたとは聞いていない。今日も午前中、子どもの体力面はどうかということを各校に聞き取りを行った。さきの報告にもあったように、体育授業は軽減化してスタートしていることや中学校の部活動を導入段階で行っているなど、本当に配慮しながら行っている。大きな問題は聞いていない。ただ、これからもっと暑くなったら、やはり心配に感じている。それから、新入学の1年生の状況は一番心配だったので、そのあたりを聞いたところ、徐々に学校生活に慣れてきた状況があり、今のところ大きな課題としては聞いてはいないが、今後も心の面などへの配慮を、継続的に学校長やいろいろな担当と連携をとっていきたい。

・長い期間の休校で不登校や体力が落ちたりと、そういう面で変わったことはなか

ったか。

(回答) 自転車通学の中学校1年生で、登校可能日の1日目か2日目にしんどくて、途中でとまってしまう子がおり、急遽先生に駆けつけてもらったということがあった。心のケアについては、総合教育センターとともに、スクールソーシャルワーカー、発達支援アドバイザー、スクールカウンセラーが予防的に活動してくれている状況である。

・中学校の部活動だが、3年生の引退に合わせて近隣でも総体を市内大会だけでもさせてあげたいという動きで、開催日程を決めた市もある。加西の場合はどう考えているか。

(回答) 実は加西も早くから中3の子どもたちの状況に合わせてこのことを検討してきた。7月1日に正式決定するので、その状況で校長会から報告を受ける予定である。なんとか部活動の最後のまとめの活動を持てたらと考えている。情報をいただいたらお伝えしたい。ご心配に感謝したい。

教育長からの退任挨拶

最後になるが、お時間をいただいて私から挨拶を申し上げたい。このたびは一身上の都合により、6月30日をもって退任することとなった。2年間の教育長在任中、皆様からご支援ご指導を賜り、感謝している。任期を残したまま退任することをとても心苦しく思っている。

教育委員の皆様とは定例の教育委員会をはじめ、学校訪問や運動会や体育祭、学習指導研究発表会など、私が当初予想していた以上にお会いする機会が多く、非常に心強く思った。また、定例教育委員会の前に、事前の検討会を自発的に持っていただくなど、その熱意をありがたく思った。積極的な教育行政への参画に本当に感謝したい。

2年間の在任中は、日常の教育活動を大切にしたいという思いで職務に携わってきた。子どもたちの健やかな成長への願いは、保護者はもちろんのことだが、教育関係者共通の願いでもある。私の個人的な現在の思いであるが、さまざまな状況に遭遇する中で生きる希望や生きる意志を育み、生きる幸せへと道を拓いていく力を培う、そういう教育を期待している。

7月1日には新教育長が就任される予定である。どうか加西市の教育の伝統と蓄積をもとに、新たな飛躍を遂げられますようお願い申し上げます。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和2年6月24日

出席者

(出席者署名)